

KSN 通信 VOL.92

明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別なご厚情を賜り、誠にありがとうございました。これからも、皆様にご満足いただけるサービスをご提供できるよう、邁進する所存にございますので、どうか本年も倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



■ 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

先ずは、旧年中格別のご厚情にあずかりましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、新年を迎えるにあたりまして、本年も通年通り「干支の意味を考えながら」我々が目指すべき将来や未来、あるべき姿について考えていきたいと思えます。

本年は、十干が「丙」、十二支が「申」であり、「丙申」となります。動物にあてはめると「猿」ということです。申は字義で「樹木の果実が熟して固まっていく様子」を表すといわれており、猿は山の賢者として信仰され、器用で好奇心あふれる動物とされています。一方で、飽きっぽい動物でもあるといわれております。噛み砕いていうと、「常に前向きで何事にもチャレンジするが、落ち着きがなく持続的ではない」といったところでしょうか。

私が「丙申」で注目したいキーワードがあります。それは、「樹木の果実が熟して固まっていく様子」という字義です。

この字義をよく考えてみると、「果実＝事業のセグメント」が「熟して＝形が明らかになる（これまで日の目を見なかった事が形となる）」、そして「固まっていく＝成果が明らかとなる」と読み替える事ができると思えます。

すなわち、

1. 積極的に新たに何かを始めるというよりも、これまでの努力や頑張りが形になっていく
2. これまで気づけなかった事に気づく
3. 評価されてこなかった事が評価される

という年回りかもしれません。

私たちの事業活動も、近畿圏における食品リサイクル事業という非常に狭い範囲からスタートして、今では国内外に様々な「ソリューション」をお客様にご提供させていただくに至っております。その中で、共に働く仲間も増え、事業を推進する原動力である組織としての力量が問われる段階へと発展してきました。

新年という行事をきっかけとして、新たな道を切り開き、私共の事業活動が社会経済活動から評価され、我々の「ソリューション」が社会に貢献できるよう、より具体的な活動を行える企業へと成長していくため、従業員一同、これからも業務に精励する所存にございます。

最後になりましたが、皆様方の益々のご発展とご清祥を心より祈願し、新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 関西再資源ネットワーク
代表取締役 福田 裕司

■ 12月の受入量割合

※総受入量に対する一般廃棄物・産業廃棄物の割合を示す。

一般廃棄物 63.3% 産業廃棄物 36.7% (H27.12.1~23)

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク
〒592-8331
大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）
FAX：072-320-9004